

## ■ハング競技委員会議事録

### ◆日時

2020年5月23日(土) 15:00-16:30

### ◆場所

オンライン (ZOOM)

### ◆参加者

牟田園、鈴木あ、田中、鈴木由路(議事録)

大沢 (担当理事)

※板垣委員は欠席

### ◆議事録

#### ～緊急議題～

○コロナ対策を踏まえた公認申請手続き

競技委員会で指針を決めて理事会に上程する。

牟田園委員長がドラフトを作成したので議論する

・自粛要請等の発令は全国にするのか？

→エントリーが確定した時点の参加選手が在住する都道府県での発令で判断する

・こういった状況なら中止するかの基準は？

→あくまでもルールブックの参加資格に則る形での表現

※ハンググライディングシリーズ開催規程 II-1 【参加資格】「3.参加資格のある者は、誰でも参加できなければならない。」

※緊急事態宣言のみではなく、移動自粛要請等も対象にし、県独自の要請も含める。

・判断を下す日はいつにするか？

1週間前、2週間前、エントリー締切日など複数意見がでた

また「判断日はエントリー締切日から1週間開けるべき」「判断は単日ではなく大会最終日までの期間にすべき」などの意見がでた

→結論)エントリー締切日から大会最終日まで

・指針に反して大会が開催された場合はどうするか？

→シリーズランキングに成績を反映しない

・承認依頼の内容を修正し、メーリングリストで詰めていく。

#### ～持ち帰り事項の確認～

(牟田園)

・新規PCに関して

→競技委員会のパソコンは申請して、手元に届いた  
8月足尾の大会に間に合うようにセットアップする

(田中元気)

- ・HP トップページの更新  
→更新した
- ・年始の大会でルール変更点を選手に向けて説明する  
→滞りなく済んだ

(由路)

- ・2021年世界選手権の代表選手選抜のとりまとめを行う  
→ルール通り、2020年7月18日までに確定する  
※2021年世界選手権が延期になった場合の代表選手をどうするかは延期が決まったら再度議論する

～新規議題～

- ハングシリーズ費の徴収ルールの変更  
(現状)エントリーした人数×500円を大会後に主催者が振込む  
振込が大会前と後とで2度手間である、確認が徹底できていない

(改正案)2万3万などの定額制にし、公認申請時に大会主催者が振り込む …大会主催者は異論なし。確実に振り込まれること、確認しやすいことが重要。

→結論)クラス1は2万、クラス5は5000円、2021年からルールを変更する

- 競技委員会の活動内容をHPに掲載する  
「誰が競技委員会をやってるの?」「君たち何やってるの?」等聞かれることがある。  
もっと活動していることをアピール。  
→鈴木由路がドラフトを作成する

- フライトコンテストに宣言地ゴールを追加する  
フライト直前でも競技委員会HPに申請を出せるようにする  
→反対意見はないが継続検討とする

～他議題～

- コロナの影響で3か月前を過ぎた大会申請は許可するか?  
→状況が状況なので臨機応変に対応する
- 夏の足尾大会の提案に対して  
板敷LDや西側のランディングは使えそうか? ←許可を取れば大丈夫そう  
→大会申請が来れば対応する  
いつまでに公認すればCivilのCat2申請が間に合うか、JHF事務局に問い合わせる(牟田園)

- ルールブックの変更の際に理事会に承認をもらうようにするべきでは?  
→変更点(赤字)の記載の新ルールブック、変更点サマリーを12月に理事会に提出する